

# インドネシア選挙の展望と経済環境について

2019年4月17日に予定されている選挙を前に、各陣営の動向に注目

情報提供資料 2019年2月15日

4月17日に、インドネシアの大統領選挙、議会選挙・地方選挙が同日に実施されます。インドネシアでは5年毎に大統領選挙が行われます。今年に入り、大統領候補のテレビ討論会が開催される等、選挙活動が徐々に本格化し、再選を目指すジョコ大統領と他候補の動向が注目されています。選挙活動の状況や今後の選挙日程について、ご説明します。

## ▶ 大統領選挙と議会選挙、異例の同日開催

- 従来は別日程で開催されていた大統領選挙と議会選挙・地方選挙が、今回の選挙では4月17日に同時に実施されます。議会選挙では、インドネシア国会上下両院の議員が選出され、主に立法等国会を行う国民議会では560議席が、主に地方自治等を審議する地方代表議会では136議席が争われます。
- 大統領選挙は、国民議会の政党が擁立した各候補者で争われます。現段階では、現大統領で連立与党が擁立するジョコ氏と、連立野党が擁立するプラボウォ氏が候補者ですが、この2名は2014年の大統領選挙と同じ顔触れで、前回選挙の再対決の形となっています。

### 【選挙内容】

選挙	選挙概要	
大統領・副大統領	与党 ジョコ・ウィドド	2期目を目指す現職大統領。最大与党である闘争民主党所属。
	候補 アマルフ・アミン	副大統領候補。イスラム学者で聖職者。
	野党 プラボウォ・スピアント	最大野党グリンドラ党党首。インドネシア国軍元中將。
	候補 サンディアガ・ウノ	副大統領候補。インドネシアで最も裕福な若手実業家の1人。
国民議会	16党が560議席を争う。政党が議席を獲得するには、4%以上の得票率が必要。	
地方代表議会	立法権・拒否権は認められていない。各州4人の議席で構成され、全議席は136議席。	

## ▶ 世論調査はジョコ氏が優勢も今後注目

- 世論調査によると、概ねジョコ氏の支持率が53%、プラボウォ氏が34%程度と、現段階ではジョコ大統領が優勢となっています。しかし、2014年に実施された大統領選挙では、事前調査でジョコ氏がプラボウォ氏に大差をつけていたものの、実際の選挙ではジョコ氏の僅差での勝利となったこともあり、今後の選挙活動が世論にどう影響するのかが注目されています。
- 選挙活動期間中には候補者による5回のテレビ討論会が予定されており、法、人権、汚職、テロ等をテーマにした第1回目の討論会が1月17日に行われました。ジョコ陣営が優勢だったとの見方がありますが、あまり活発な議論とはならなかったようです。今後、自由な意見交換が行われるようになった際、どこまで支持率を伸ばせるかが鍵となります。

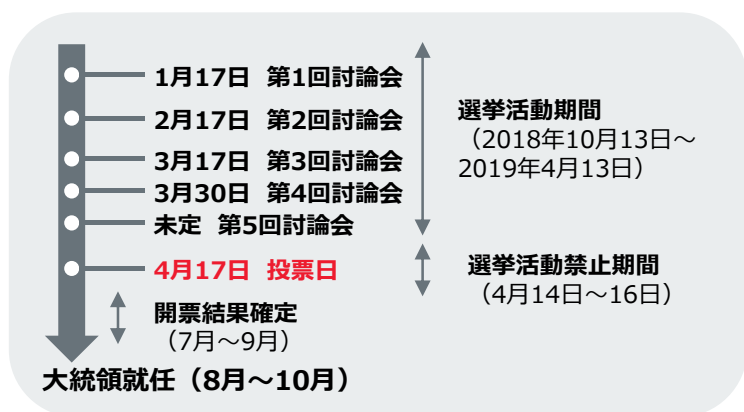
## ▶ 今後の見通し

- 現職大統領であるジョコ氏は任期中の実績をアピールして選挙活動を行うと考えられますが、最大の実績として挙げられるのがインフレ率の抑制です。ジョコ氏が就任してから、歴史的に高かったインフレ率は低位安定し、2016年以降は中央銀行の目標レンジ内にほぼ収まって推移しています。
- 一方で、実質国内総生産（GDP）成長率は2017年から継続して前年同期比5%を超えているものの、ジョコ氏が大統領就任時に掲げていた7%に任期中には届かない見込みです。プラボウォ氏がこの様な点を指摘し、ジョコ氏の支持率低下を図る可能性もあります。
- 2019年に入ってから、通貨ルピアの安定や外部リスク要因の後退から、インドネシア株式市場は回復傾向にあり、インフレ率も低位安定して推移していることから、ジョコ氏の支持率の高さは継続するとみられます。しかし、米中貿易摩擦懸念の悪化や世界景気の後退等の要因でインドネシア経済が悪化すれば、プラボウォ氏への支持率が高まる可能性もあり、今後の動向を注視する必要があります。

### 【テレビ討論会開催予定日程】

開催予定日	テーマ	候補者
第1回 1月17日	法、人権、汚職、テロリズム	大統領 副大統領
第2回 2月17日	エネルギー、食糧、天然資源、環境、インフラ	大統領
第3回 3月17日	教育、医療、雇用、社会、文化	副大統領
第4回 3月30日	イデオロギー、行政、国防、国際関係	大統領
第5回 未定	経済、社会福祉、財政、投資、産業	大統領 副大統領

### 【大統領選挙日程】



英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

190214 (08)

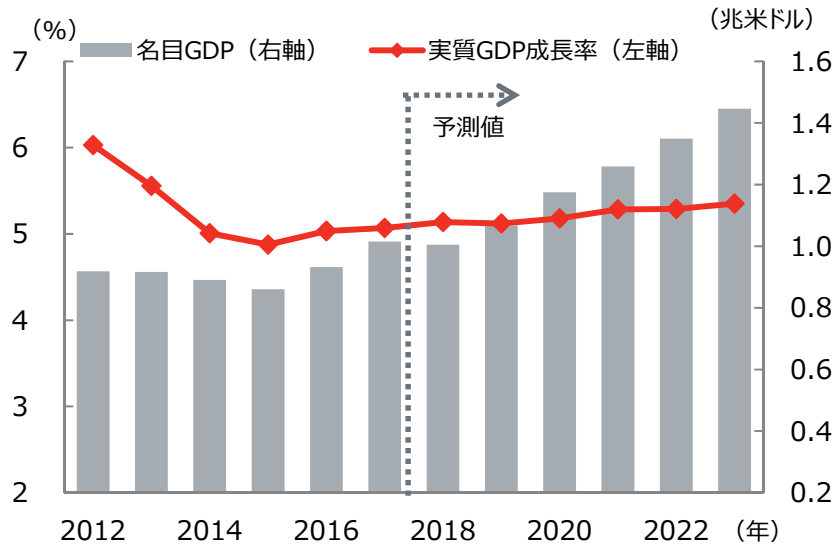
■ インドネシア株式市場の時価総額は、タイやシンガポールよりも上位となっています。

■ インドネシアの国内総生産（GDP）は、ジョコ政権下で堅調に推移しており、今後も5%を超える経済成長率が期待されています。

### 【アジアの株式市場規模の比較（2019年1月末時点）】

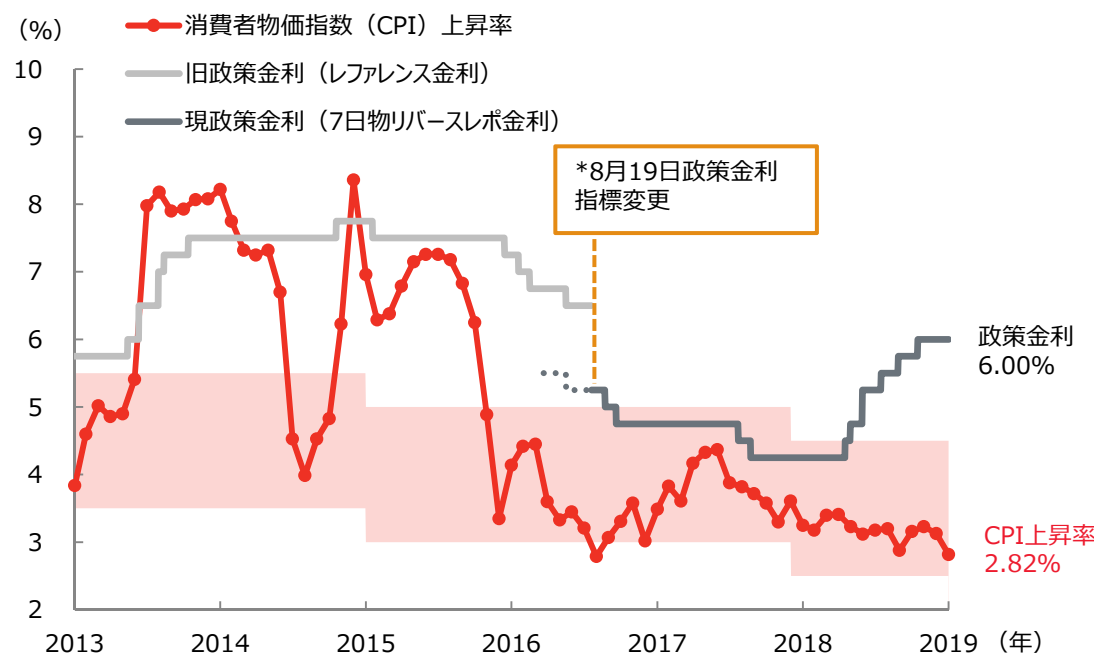
### 【インドネシアのGDPの推移（2012年～2023年）】

国・地域名	時価総額	主要証券取引所	代表的な株価指数
	(兆円)		
中国	615	上海証券取引所	上海総合指数
		深セン証券取引所	深セン総合指数
香港	563	香港取引所	ハンセン指数
インド	215	ボンベイ証券取引所	SENSEX指数
		ナショナル証券取引所	CNX Nifty指数
韓国	161	韓国取引所	韓国総合株価指数
台湾	118	台湾証券取引所	加権指数
インドネシア	57	インドネシア証券取引所	ジャカルタ総合指数
タイ	56	タイ証券取引所	SET指数
シンガポール	55	シンガポール取引所	ST指数
マレーシア	44	マレーシア証券取引所	FTSEブルサマレーシア KLCIインデックス
フィリピン	30	フィリピン証券取引所	フィリピン総合指数
<b>&lt;ご参考&gt;</b>			
日本	621	東京証券取引所	日経平均株価
			東証株価指数



出所：Bloomberg L.P.、IMF世界経済見通しデータベース（2018年10月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。2018年以降は予測値。

### 【消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）と政策金利の推移（2013年1月～2019年1月）】



- 歴史的に高い水準にあったインドネシアのインフレ率は、2016年以降は低位安定して推移しています。
- インドネシア中央銀行（BI）は、積極的および先制的な利上げを行い資金流出抑制を通じて経済の安定を図っています。

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。